

中国受信環境クリーン協議会の総会・表彰式・講演会を広島市で開催 ～講演会テーマは、スマートテレビ時代の4K・8K映像サービス～



＜顧問挨拶＞
中国総通局の齊藤局長



＜表彰式＞



＜記念講演会＞

中国受信環境クリーン協議会(会長:松田弘)は、平成26年6月11日(水)、広島市において、放送事業者、電気通信工事業者、自治体、電気通信事業者、電気事業者、流通・販売業者、製造業者など53名が出席のもと「第65回総会・第58回表彰式・記念講演会」を開催しました。

総会では、顧問の中国総合通信局の齊藤局長から挨拶を受け、平成26年度事業計画及び予算を決定し、引き続き、個人1名の表彰を行いました。

終了後は記念講演会が開催され、一般社団法人次世代放送推進フォーラムから、「4K・8Kの映像サービス」についての講演があり、6月から試験放送が開始された4K放送の説明とこれからのロードマップ、番組制作例と課題、さらに、多様な領域での活用・応用等の紹介など、これからのスマートテレビ時代の到来を身近に感じさせる講演内容であり、高画質の特長から、いろいろな分野での活用など、これからのメディアの中心として期待されているのが認識できるものでした。現在、この4K・8K放送は、総務省の「放送サービスの高度化に関する検討会」で決められたロードマップに沿って進められており、6月2日の4Kテレビの試験放送に始まり、2016年には8Kテレビ、そして、2020年には商用サービス開始に向けて展開する予定となっています。

総務省では、中国受信環境クリーン協議会と連携して、中国地域の良好なテレビ・ラジオの受信環境の確保のため活動してまいります。